

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
松阪市	松阪市	平成 31 年度～令和 5 年度	平成 31 年度～令和 5 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和6年度) A	実 績 (令和6年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	15,334t	12,550t	52.2%
	1事業所当たりの排出量	1.91t	1.56t	43.2%
	生活系 総排出量	39,735t	35,499t	83.3%
	1事業所当たりの排出量	227kg/人	211kg/人	62.9%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	55,069t	47,999t	71.1%
再生利用量	直接資源化量	747t	865t	25.0%
	総資源化量	6,687t	4,959t	-93.8%
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量）	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	污水衛生処理人口			%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	污水衛生処理人口	988	805	22.4%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	0.5%	0.5%	0%
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口			%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	%	%	%
未処理人口	污水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

【排出量】

目標は達成できなかったが排出量は減少してきている。人口が減少していることもあるが、一人当たりのごみ排出量も減少してきているため、施策の効果はあったと推測するが、新型コロナウイルスの蔓延により、啓発等が十分にできなかった期間があったことも影響していると考えられる。

【再生利用量】

再生利用量の直接資源化・総資源化量については目標値を達成できませんでした。直接資源化される紙類(雑誌・雑紙・新聞紙・ダンボール等)やペットボトル、トレー等のスーパー等での店頭回収が広がりを見せており、ポイントが付与されるなどの特典もあることから、買い物ついで等に資源物を出す市民が増加していることが要因だと推測されます。またデジタル機器の発展によりペーパーレス化が進んでいることも要因の一つと考えられます。

【生活排水処理】

集落排水施設等において、想定より人口減少が無かったことが要因と考えます。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和10年度まで

【排出量】

令和5年3月に策定した「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」で定めた施策を継続して実施し、減量に努めます。その中でも、食品ロス削減に関する取組を強化することで、事業系ごみ、生活系ごみの減量に努めます。

【再生利用量】

ごみの排出量が減少していることや店頭回収などが広がりを見せていることもあり再生利用量は減少していくと予想されるが、適正分別の啓発を継続して行うことで、資源化率の向上に努めます。また、焼却灰の資源化を計画しており、資源化率の向上につなげていきます。

【生活排水処理】

集落排水施設等において、適切な維持管理に努め、施設の維持を図ります。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

- ・引き続き、排出量の削減に向けて、食品ロス削減に関する取組等の施策に取り組まれることを期待します。
- ・適正分別の啓発の継続や製品プラスチックの再商品化、また、以前から検討されている焼却灰の資源化の導入等により、再生利用が推進されることを期待します。

【生活排水処理関係】

今後も効率的・効果的な生活排水処理施設の整備に取り組まれることを期待します。